《フロアキーパー（ＦＫ）生徒役員の動き》

１　大会当日の動き　　◎ＴＯ生徒と一緒に行動する。

２　心構え

（１）選手に最高のコンディションでプレイしてもらうために、心を込めて最高のパフォーマンスを行う。**選手が転倒したら、必ずその場に行く姿勢を表現する**。

（２）常に２人１組で行動し、アイコンタクトを忘れずに、美しいモップを心がける。

（３）フロアキーパーも観客に観られ、試合を盛り上げる大切な役割である。いつも駆け足での素早い行動を心がける。（座っている姿勢も背筋を伸ばしてしっかりとする））

３　業務

（１）コートのモップかけ

各第１・第３ピリオド開始１分３０秒前、２分間のインターバル、タイムアウト時に２人１組でそろってハーフコートのモップがけを駆け足で行う。

フロアの板の目が

①エンドラインと平行の場合：ベンチと反対側のサイドラインのフリースローラインの延長上に２人そろって背筋を伸ばして立ち、礼をしてからモップがけを行う。礼の後、ハーフコートの左右を分担して駆け足でモップをかける。モップをかけ終わったら、サイドライン上で、４人のタイミングを合わせてコートに向かって礼をし、椅子のところへ行き４人そろって礼をしてからゆっくり座る。

②サイドラインと平行の場合：エンドラインの中央に２人そろって背筋を伸ばして立ち、礼をしてからモップがけを行う。以下、①と同様

※両手でしっかりと握って持ち（一方の手はモップの棒の上、もう一方の手はモップの棒の真ん中あたり）、体重をモップ全体にかけて安定させて行うように努める。

（２）選手が転倒したときの雑巾がけ

試合中でも審判が呼び入れたときや、選手が転倒してコートが汗で濡れたときなどに走っていき、乾いた雑巾でコートの汗を拭き取る。

①試合中にコートに入って拭き取る際は、１名は試合の状況を把握し、妨げにならないようにする。特に拭いている人よりもボールに近い位置にもう一人の人が立ち、安全を確保する。

②コートにはいるときは、礼をしないで速やかに作業に移る。コートから出たらラインより１ｍ以上は離れて（安全確保のため）２人そろって礼をして駆け足で自分の席に戻り、２人そろって礼をして同時に座る。

③試合が進行中のときは、安全を確保しつつ、（センターライン近くには無理をしていかない）汗を拭きに行く姿勢を見せる。

④転倒後すぐに、審判の笛が鳴ったときは選手の妨げにならないようにして素早く駆け足でコートの中に入って拭き取る。

（３）座っているときの姿勢・モップの置き方

①腰を深くして椅子に座り、背筋を伸ばして常に顔をあげている。

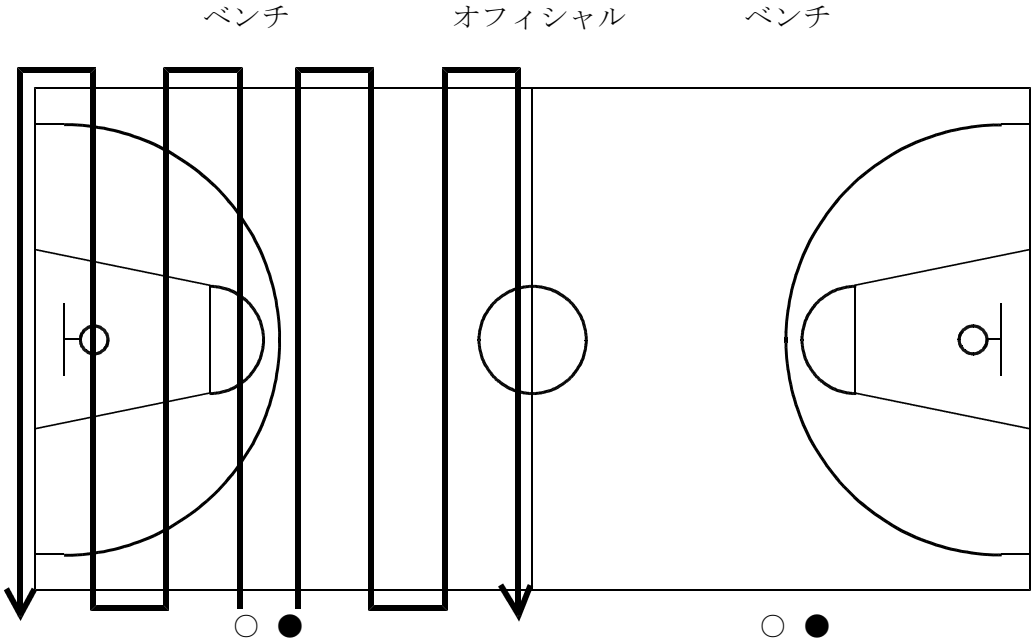
②雑巾は２人とも座っているときは持っている。

③モップは自分の椅子の外側（右の椅子は右側・左の椅子は左側）にモップの部分を前にして置く。

④手袋は FK 主任の先生の指示で装着する。出血以外は着用しない。

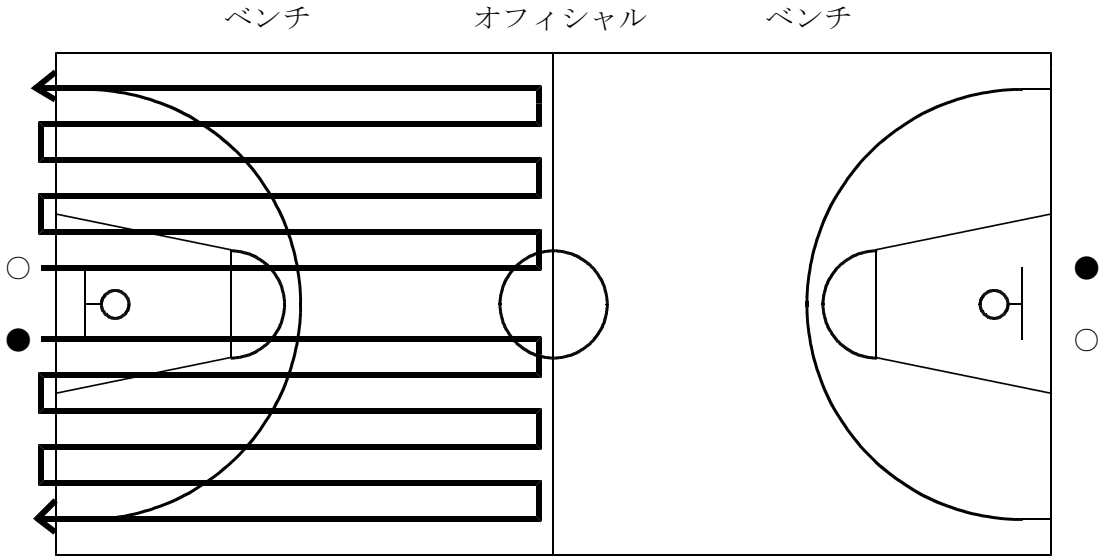
（４）モップのコース

①フロアの板の目がエンドラインと平行の場合



２人そろって礼をしてコートに入り、４往復し、礼をして席に戻る。４人がそろったらモップを置いてから礼をして席に座る。

②フロアの板の目がサイドラインと平行の場合



２人そろって礼をしてコートに入り、４往復し、礼をして席に戻る。４人がそろったらモップを置いてから礼をして席に座る。

（５）その他　試合中、出血等でコートが汚れた場合は、手袋を着用してタオルで拭き取る。